

## 編集後記

多くの方々のお力添えをいただき、『満洲の記憶』第8号を無事刊行することができました。本号は史料解説1編、史料目録1編、回想録1編、インタビュー記録1編という構成になっています。

各コンテンツについて簡単に紹介します。解説および目録で紹介する秦源治氏「大連・旅順絵葉書コレクション」については、「故郷」の風景を追い求めて個人収集された絵葉書が、引揚者団体の活動の中で紹介されることにより、集約的な植民地記憶を補強させるという興味深い特徴を持っていたことが指摘されています。前号から連載している回想録「洪熙の残照」は、1945年の8月上旬から10月上旬までの部分を掲載しています。特に中心的な内容の1つである日本人経営者と中国人労働者の交渉について、そこにいたる経緯や奥村松平氏の心理描写が克明に記されています。また「ある女性クリスチャンの満洲回想」は、筆者の伯祖母である石川光子氏のインタビューをまとめています。牧師の娘という視点からの語りは、キリスト教史的意義のみならず、言語環境や言語使用を分析する社会言語学における意義もあると思われます。

本号は既刊各号の持つボリュームを大きく更新しており、手前味噌ですが質・量ともにより充実した内容となっております。このように継続して充実した内容をお届けできることをとても嬉しく思います。コロナ禍という特殊な状況ではありますが、今後も皆様のご支援に感謝しながら研究活動に励んでまいります。今後ともよろしくご愛読ください。(甲賀真広)

## 『満洲の記憶』第8号

発行日：2021年10月1日

編集：「満洲の記憶」研究会編集委員会  
第8号編集委員：

今井就稔 尹国花  
梅村卓 大野絢也  
郭嘉輝 菅野智博  
甲賀真広 佐藤仁史  
林志宏

発行：「満洲の記憶」研究会

〒186-8601 東京都国立市中2-1  
一橋大学大学院社会学研究科  
佐藤仁史研究室 気付

Tel・Fax：042-580-8885

◇本誌は年刊オンラインジャーナルで、毎年10月に刊行されます。本会学年暦は、2020年度は8月1日から翌年8月31日、2021年度以降は9月1日から翌年8月31日とします。

◇本誌は一橋大学機関リポジトリにおいて配付しています。

<http://hermes-ir.lib.hit-u.ac.jp/rs/handle/10086/27095>

◇「満洲の記憶」研究会へのアクセス

・研究会ブログ：

<http://manshunokioku.blog.fc2.com/>

・研究会 Facebook：

<https://www.facebook.com/groups/359559330877470/>

ISSN 2189-390X